

新しい建設事業は維持管理費の検証を



古沢喜幸 議員

質問 これからの人口減少に伴い、予算規模も相当減ると思われるが、それでも公共施設は維持可能にしなければならぬ。今後の新しい建設事業は、維持管理等々、あらゆる角度から慎重に検討しなければならぬ。子や孫の代に負の遺産を残さないことが今を生きる私たちの責任だと思いが、見解を伺う。

市長 公共施設において、満足度の高い市民サービスを供給していくためには、施設の維持管理に要するランニングコストは欠かせないものである。計画時において様々な検証を行うことでコストの削減を図るとともに、整備後においてもPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善の繰り返し）による費用対効果の検証を行うなど、いかに最少の経費で最大の効果をあげることができるか、これを常

に念頭に置きながら、施設整備に努めてまいりたい。
（掲載以外の質問事項）
・水道事業について

荒川沖地区野球広場の整備推進について



篠塚昌毅 議員

質問 本市南部地区の野球場は、荒川沖地区野球場1カ所のみである。この野球場は市が土地所有者から土地を借り上げ、毎年借地料を支出しているが、当該地を財産として購入し、整備する計画の実現性はいかがか。見解を伺う。

教育次長 荒川沖地区野球場は、荒川沖及び乙戸地区で唯一の野球場であり、市民の健康づくりや社会体育の振興に欠かせないものだとして認識している。しかし、この野球場には使い勝手の面で外野の膨らみがとれず、野球の趣、味わいがそがれてしまっていることや、駐車場が十分確保できないなどの課題があることから、現在地の買収という選択

肢ばかりでなく、同地区において他に適地があるかどうかを含め、幅広く調査検討してまいりたい。
（掲載以外の質問事項）
・市街地の整備計画について



荒川沖地区野球場

景観を活かしたまちづくり
（霞ヶ浦・土浦八景等）



小林幸子 議員

質問 景観を活かしたまちづくりについて、特に土浦の資産、霞ヶ浦や古くから伝わる土浦八景、小町の里をどのように考えているのか、見解を伺う。



霞ヶ浦から筑波山を望む

都市整備部長 自然景観である霞ヶ浦やハス田の景観、筑波山麓の景観は、亀城公園や中城地区の歴史文化景観とともに、本市の保全すべき重要な景観資源と考えている。景観計画では、霞ヶ浦湖畔や筑波山麓を良好な景観形成を図る重点地区に指定し、霞ヶ浦や筑波山の眺望を阻害する建物については、高さや色彩を制限していきたいと考えている。また、自然景観の保全を景観計画で行い、観光基本計画とも連携しながら、まちづくり資源としての活用を考えていきたい。
（掲載以外の質問事項）
・事業仕分けについて

常磐自動車道におけるプルトニウム核燃料輸送について



川口玉留 議員

質問 東海村から福井原発のものんじゅへ、常磐高速道を使ってプルトニウムの輸送が行われている。このことについて、本市の見解を伺う。

消防長 常磐高速道を使用している運搬に関して、現在本市への情報の提供はない。核燃料物質等の運搬・輸送に関しては、原子力事業者及び運搬委託業者は、あらかじめ運搬経路を管轄する都道府県公安委員会に届けを出し、運搬証明の交付を受けなければならないことから、県公安委員会、状況によっては管轄の警察署においても当然周知、承知をされていると思われる。また、運搬、輸送時の安全については、原子力事業者等の責任の下、十分に現段階では確保されているものと認識している。
（掲載以外の質問事項）
・土浦市消防行政について